

8. Integrated Mobility Services : スイスの Mobility CarSharing

トピック : カー・シェアリング (スイス)

特徴

カーシェアリングを単独で行うのではなく、バスや鉄道などの公共交通機関との連携を図った、移動手段の組み合わせを利用したカーシェアリングを実践している。

‘Mobility CarSharing’は、人々は必ずしも車を所有する必要はなく、彼らは車の持つ移動性を必要としているのである、という前提に基づいている。

‘Mobility CarSharing’は、スイスの公共交通機関と鉄道会社の運営者とで新たにパートナーシップを組むことで、スイス中の顧客に幅広い移動の選択肢を提供することを求めてきた。

< ‘Mobility CarSharing’サービスの具体例 >

国鉄との乗合バスの利用。Hertz や Eurocar といった他社との協働の下、ホリデーのピークには車両の融通を互いに行うこと。ビジネスの案件ならびにショッピング・センターでの車両貸し出しについて、Migros という全国をカバーする小売会社との協働体制を組んでいること。

< 成果とそれを計る指標 >

‘Mobility CarSharing’サービスについてのライフサイクル・アセスメントによれば、総体的な運行距離は 3% しか減っていないにもかかわらず、環境への (悪) 影響は 20% も低減した。またアセスメントに用いられる手法は、現在のところ大気への排出、エネルギー消費、土壌・水質の汚染を主な評価の対象としているが、今後は騒音、微粒子問題、社会的影響力 (事故など) といった観点からも分析を行ってゆく。

< 顧客の反応とその特徴 >

この ‘Mobility CarSharing’ は、顧客が自身の移動パターンが環境に対して与える負荷を抑えることを可能にし、このサービスを利用する顧客になった人々は次のような特徴を示している。

同サービスを 5 キロメートル以内の短い移動の際に好んで利用し、徒歩や自転車あるいは原付 (原動機付自転車) などの、他の環境にやさしい移動手段をも併用する。

自動車の占有期間が長い?

公共交通機関を利用するようになる。(平均的なスイス人の公共機関利用割合が 20%、自家用車の利用割合が 80% であるのに対して、同サービスの顧客はそれぞれ 75%、25% とまったく逆の傾向を示すのである。)

< 現在の運行状況 >

‘Mobility CarSharing Switzerland’ は、Lucerne に本部を構え、Geneva と Zurich にオフィスを持っており、スイスに会社の登録をしている。同社のサービスはスイス中で運行されており、約 800 点の支店網を持ち、36,000 にんに及ぶ顧客を有している。そこでは、14 のカテゴリーに分けられた 1400 台もの自動車を提供しているのである。

・(仮訳)

・(出典)Synthesis Report of the OECD project on Environmentally Sustainable Transport EST presented on occasion of the International est! Conference 4th to 6th October 2000 in Vienna, Austria.